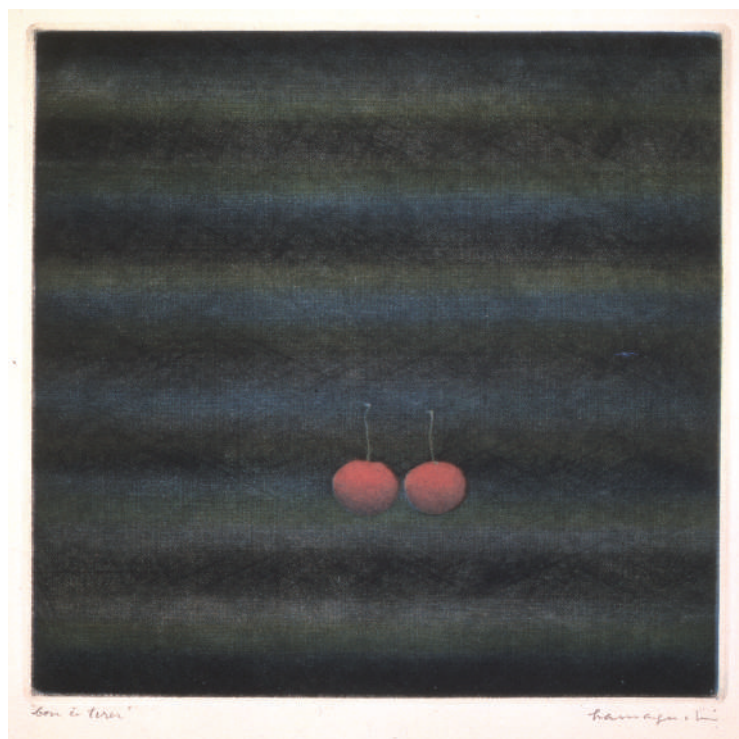


ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 2026年 夏の企画展

浜口陽三と白倉嘉入 満ちてくる光

2026年5月23日(土)～8月2日(日)



1 浜口陽三《2つのさくらぼ》1958年 カラーメゾチント 19.4×19.3 cm



5 白倉嘉入《菊園図》紙本着色 31.4×36.5 cm



2 浜口陽三《てんとう虫》1960年 カラーメゾチント 10.0×7.9 cm



4 白倉嘉入《清溪図》年代不明 絹本着色 89.4×102.8 cm 撮影 Tomas Svab



3 浜口陽三《びんとレモン》1957年 カラーメゾチント 29.4×34.4 cm

不思議な取り合わせの二人の物語です。

浜口陽三(1909～2000)が銅版画に本当にたどり着いたのは40歳を過ぎてから。それまで沢山の芸術表現を試み、1941年には南画家・白倉嘉入に水墨画を学んでいます。

十数年後、パリで新しい版画技法を開拓し、国際的に評価された後も、彼は略歴に、白倉に学んだという一行を書きました。時空を超えて、大切な出会いだったことが分ります。

新潟に生まれた白倉嘉入(18967～1974)は、洋画家を志した後、京都に出て近代的な作風で南画の新境地を開いた画家です。長く作品が散逸していましたが、2024年に大阪の(公財)天門美術館にて『白倉二峰展』が開催され、ようやく作家像が浮かびあがりました。今回が関東でははじめての展覧会になります。

二人の接点を想像しながらご鑑賞下さい。
白倉の初公開作品を含む約50点の構成です。
*白倉嘉入の作品には展示替えがあります。



6 白倉嘉入《深林暮色図》年代不明 紙本着色
149.3×45.8 cm 撮影 Tomas Svab



7 白倉嘉入《深林暮色図》年代不明 紙本着色【部分】
149.3×45.8 cm 撮影 Tomas Svab

感じていただきたい魅力

浜口陽三 さくらんぼがまとう、かすかな光

白倉嘉入 細い墨線による水や風のさざめき

どちらも絵の中へと世界が広がっています。
ゆっくりと眺めて、
かすかな光の中を旅してください。

[開催概要]

展覧会名 浜口陽三と白倉嘉入展 満ちてくる光

顧問 林浩平（詩人、前恵泉女学園大学特任教授）

会期 2026年5月23日（土）～8月2日（日）

休館日 月曜日（7月20日は開館、翌21日休館）

開館時間 平日11:00～17:00 土日祝10:00～17:00（最終入館16:30）

6月27日（土）は14:00にて閉館

ナイトミュージアム 7月31日（金）～20:00（最終入館19:30）

入館料 一般600円、大学生・高校生400円、中学生以下無料

主催・会場 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蠣殻町1-35-7

H P <https://www.yamasa.com/musee/> *現在改訂中です。5月再開の予定です。

アクセス 東京メトロ半蔵門線 [水天宮前]3番出口そば

東京メトロ日比谷線 [人形町]A2出口徒歩8分

展覧会関連イベント

- 1 講演会 南画礼賛 林浩平
6月27日（土）15:00～16:30 定員60名
- 2 文人風俳句会 主宰：林浩平
7月24日（金）17:00～18:30 定員15名
- 3 ギャラリートーク 白倉嘉入について 波瀬山祥子
6月13日（土）14:00～15:30 定員60名 入館料のみ

1、2とも参加費用 入館料+100円

この他、会期中に箏の演奏会を予定しています。詳しくはSNSにて。

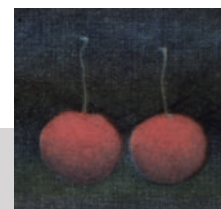
[お問合せ先] 広報担当 高野

E-mail musee@yamasa.com

Tel 03-3665-0251

Fax 03-3665-0257

広報用の画像をご要望の場合は作品番号をお伝えください



Profile

浜口陽三（1909-2000）

和歌山県生まれ。東京美術学校彫塑科を2年で中退しフランスへ渡り、油彩、水彩、版画などを独習。第二次世界大戦勃発により帰国。水墨画を一時期学ぶ。戦後、東京で本格的に銅版画に取り組み、1953年に再びフランスへ渡る。1957年以降、自ら開拓した技法、カラーメゾチントによる作品で国際コンクールでグランプリを次々に受賞し、20世紀を代表する版画家として活躍。

白倉嘉入（白倉二峰）（1896-1974）

新潟県生まれ。12歳から南画を学ぶが1912年にみづゑ研究所に入り、水彩画を文展に出品。1917年、南画の道に戻り、京都に移住。1921年、日本南画院創設者の一人となり、小室翠雲に出会う。その後は日本南画院や帝展に作品を発表した。1938年に画塾「欣叡社」を設立。1940年より雅号を嘉入。